

事例5

< 事例概要 >

大腿骨接合術

- ① 90 歳代、体重40 kg 台、閉塞性動脈硬化症がある患者。抗血栓薬内服中（休薬あり）。
- ② 大腿骨転子部骨折に対し、受傷3 日後に骨接合術（髄内釘）を施行。
- ③ 術中出血なし。手術終了時、牽引体位から仰臥位にすると血圧50 mmHg台、意識レベル低下。補液負荷と昇圧薬を投与し、血圧90 mmHg台、心拍数110 回/分台。Hb 14 g/dℓ 台。大腿腫脹があり弾性包帯で圧迫。退室時血圧110 mmHg台、心拍数100 回/分台。
- ④ 救命センター帰室後、血圧低下は脱水によるものと判断し、補液負荷。バイタルサイン不安定で昇圧薬の持続投与、Hb 7 g/dℓ 台で赤血球液を投与。患肢の腫脹増大。約1 時間後、造影CT で大腿深動脈の損傷あり。塞栓術を施行中、一時心肺停止あり。赤血球液などを投与したが穿刺部より出血が持続し、帰室約13 時間後に死亡。
- ⑤ 死因は、血管損傷による出血性ショック。死亡時画像診断（Ai）無、解剖無。